



**国際助産師連盟  
オランダ ハーグ**

Laan van Meerdervoort 70, 2517 AN

[www.internationalmidwives.org](http://www.internationalmidwives.org)

**専門職としての助産師教育のための  
モデルカリキュラムの概要 2012**

**フィードバック用フォーム 2012**

**各位**：2011年 ICM 評議会は、加盟協会（MA）や世界の助産師の利用を目的とした複数の重要な文書に合意しました。最初の基本文書は『ICM 基本的助産業務に必須な能力（2010）』の改訂版、その次に採択されたのが新規の『ICM 助産師教育の世界基準 2010』とその付属ガイドラインです。2012年6月、ICM 理事会は加盟協会や関係者らによる最新の能力を基礎にした就業前または基本助産教育課程の計画・実施・評価の支援に重点を置き、新しい教育基準を用いた4部のリソースパケットからなる『専門職としての助産師教育のためのモデルカリキュラムの概要（Model Curriculum Outlines for Professional Midwifery Education）（2012）』を採択しました。ICMは、これらのリソースパケットおよび付属文書の質と助産教育者ら利用者にとっての有用性とを高めるため、その検証に皆様の力をお借りしたいと考えています。お手数をお掛けしますが、ICMのためにフィードバックをお願いいたします。

**方法**：4つのリソースパケットそれぞれに、記入用のフィードバック用フォームがあります。多くのコメント欄は類似していますが、各リソースパケットは重点や内容が異なっており、それぞれについて個々のフィードバックが必要です。提示された記述について「(1) そう思う」から「(7) そう思わない」で評価し、各評価欄のあとのテキストボックスにより詳しいフィードバックを記入してください。全項目について追加のフィードバックを記入することが望まれますが、特に「そう思わない (5~7)」と評価した項目については、その改善ができるようフィードバックを記入していただくことが重要になります。4つすべてのパケットの用紙に記入したら、以下の担当者にメールでご送付ください。

1. Ans Luyben、共同議長、ICM 教育常任委員会 [luyben@bluewin.ch](mailto:luyben@bluewin.ch)
2. Dymphna Byrne、ICM 企業サービスマネージャー [d.byrne@internationalmidwives.org](mailto:d.byrne@internationalmidwives.org)

ICM と教育常任委員会のための皆さまのご協力に感謝いたします。

フィードバックの分野	以下の記述を「(1) そう思う」から「(7) そう思わない」で評価してください。						
	1 そう 思う	2	3	4	5	6	7 そう思 わない
<b>リソースパケットその1：背景とカリキュラム開発のプロセス</b>							
1.1 この資料は完全だった。重要な内容がすべて含まれていた。							
1.2 文書の言葉使いは明解だった。分かりやすい言葉使いで、難解な専門用語は使われていなかった。							
1.3 文書で議論されている助産師教育への道筋は、自国で利用可能な道筋の典型である。							
1.4 助産カリキュラム開発プロセスの各段階は明確に説明され、よく理解できた。							
1.5 助産カリキュラム開発プロセスの各段階は完全だった。不可欠なステップがすべて提示されていた。							
1.6 助産師教育課程の計画と実行に関連する主要な決定は『ICM助産師教育の世界基準2010』と適切にリンクしていた。							
1.7 付属文書Aは、モジュールで示された資料の図解として有用だった。							
1.8 巻末の注は完全だった。他に推薦したいリソースはない。							

**\*\*上記の項目に5~7の評価をつけた場合には、以下により詳しいフィードバックをお願いします。どの点に改善が必要か、どんな資料を追加すべきかをご教示ください。**

枠内にタイプしてください。記入が長くなれば、枠は自動的に拡大されます。

**1.1 この資料は完全だった**

**1.2 文書の言葉使いは明解だった**

**1.3 助産師教育への道筋**

1.4 助産カリキュラム開発プロセスの各段階は明確に説明され理解できた

--

1.5 助産カリキュラム開発プロセスの各段階は完全だった

--

1.6 主要な決定は『ICM助産師教育の世界基準2010』と適切にリンクしていた

--

1.7 付属文書Aは図解として有用だった

--

1.8 巻末の注は完全だった

--

リソースパケットその1に対するフィードバックは以上。

フィードバックの分野	以下の記述を「(1) そう思う」から「(7) そう思わない」で評価してください。						
	1 そう 思う	2	3	4	5	6	7 そう思 わない
<b>リソースパケットその2：モデル助産カリキュラムの概要</b>							
2.1 この資料は完全だった。重要な内容がすべて含まれていた。							
2.2 文書の言葉使いは明解だった。分かりやすい言葉使いで、難解な専門用語は使われていなかった。							
2.3 序論と実用的なヒントは、この資料を読んで何を学ぶべきか理解するのに役立った。							
2.4 3年制モデルカリキュラムの科目は、その期間に修了できる学習プログラムを反映していた。							
2.5 3年制モデルカリキュラムに示された1つまたは複数の科目は、専門職としての助産師の教育には <b>必要ない</b> ものである。 〔必要ない科目を以下に説明のこと〕							
2.6 18ヵ月制登録後助産カリキュラムの科目は、その期間に修了できる学習プログラムを反映していた。							
2.7 18ヵ月制モデルカリキュラムに示された1つまたは複数の科目は、専門職としての助産師の教育には <b>必要ない</b> ものである。〔必要ない科目を以下に説明のこと〕							
2.8 サンプルモジュールは有用なモデルであった。助産教育者が助産科目中の何らかのトピックについて新しい科目モジュールを作成する際、役立つと思われる。							
2.9 付属文書 A.1.は、助産師教育の3年制カリキュラム全体における科目分布の図解として有用だった。							
2.10 付属文書 A.2.は、助産師教育の18ヵ月制カリキュラム全体における科目分布の図解として有用だった。							
2.11 付属文書 B（文章および図解）は、このモジュールの補足として有用だった。助産教育者がこのモジュールを使用する際の価値を付加した。							
2.12 付属文書 C は、このモジュールの補足として有用だった。助産教育者がこのリソースパケットを使用する際の価値を付加した。							
2.13 付属文書 D は、このリソースパケットの補足として有用だった。助産教育者が新しいカリキュラムの構成を計画する際や、既存のカリキュラムに ICM 能力およびその知識・技術・行動がすべて含まれているかどうかを確認する際に有用と思われる。							
2.14 巻末の注は完全だった。他に推薦したいリソースはない。							

**\*\*上記の項目に5~7の評価をつけた場合には、以下により詳しいフィードバックをお願いします。どの点に改善が必要か、どんな資料を追加すべきかをご教示ください。**

枠内にタイプしてください。記入が長くなれば、枠は自動的に拡大されます。

**2.1 この資料は完全だった**

--

**2.2 文書の言葉使いは明解だった**

--

**2.3 序論と実用的なヒントは有用だった**

--

**2.4 3年制モデルカリキュラムに概説された学習プログラムは修了可能である**

--

**2.5 3年制モデルカリキュラムの科目には、以下を含む必要がない**

--

**2.6 18ヵ月制登録後課程用モデルに概説された学習プログラムは修了可能である**

--

**2.7 18ヵ月制登録後課程用モデルの科目には、以下を含む必要がない**

--

**2.8 サンプルモジュールは有用だった**

--

**2.9 付属文書 A.1.は図解として有用だった**

--

**2.10 付属文書 A.2.は図解として有用だった**

--

**2.11 付属文書 B は本文の補足として有用だった**

--

**2.12 付属文書 C は本文の補足として有用だった**

--

**2.13 付属文書 D は本文の補足として有用だった**

--

**2.14 巻末の注は完全だった**

--

リソースパケットその 2 に対するフィードバックは以上。

フィードバックの分野	以下の記述を「(1) そう思う」から「(7) そう思わない」で評価してください。						
	1 そう 思う	2	3	4	5	6	7 そう 思わ ない
<b>リソース packets その 3 : 助産師教育に利用できる主な情報資源</b>							
<b>3.1</b> この資料は完全だった。重要な団体の情報がすべて含まれていた。							
<b>3.2</b> この文書で示されているリソースは本質的に国際的なものである。すなわち少数の国や特定の地域だけの視点に限定されていない。							
<b>3.3</b> 文書の言葉使いは明解だった。分かりやすい言葉使いで、難解な専門用語は使われていなかった。							
<b>3.4</b> 推奨されている書籍・論文・指導リソースは図書館で利用可（購入可）もしくはインターネットでアクセスできると思われる。							
<b>3.5</b> 低コスト教材の例示は有用だった。							

**\*\*上記の項目に 5~7 の評価をつけた場合には、以下により詳しいフィードバックをお願いします。どの点に改善が必要か、どんな資料を追加すべきかをご教示ください。**

枠内にタイプしてください。記入が長くなれば、枠は自動的に拡大されます。

**3.1. この資料は完全だった**

**3.2 示されたリソースは国際的だった**

**3.3 文書の言葉使いは明解だった**

**3.4 推奨されている書籍・論文・指導リソースは自国で入手可能である**

**3.5 低コスト教材の例示は有用だった**

フィードバックの分野	以下の記述を「(1) そう思う」から「(7) そう思わない」で評価してください。						
	1 そう 思う	2	3	4	5	6	7 そう思わ ない
<b>リソース packets その 4: 能力に基づいたカリキュラムにおける指導と学習</b>							
4.1 この資料は完全だった。重要な内容がすべて含まれていた。							
4.2 文書の言葉使いは明解だった。分かりやすい言葉使いで、難解な専門用語は使われていなかった。							
4.3 学習理論と成人学習に関する概要は有用だった。							
4.4 能力に基づいた指導・学習に関する情報は、助産学教員としての経験が少ない助産教育者にとって有用と思われる。							
4.5 能力に基づいた指導・学習に関する情報は、非常に経験豊富な助産教育者にとって有用と思われる。							
4.6 助産学教員の資格と責任に関する部分は有用だった。							
4.7 巻末の注は完全だった。他に推薦したいリソースはない。							
4.8 付属文書 A は、学習と指導の関係を理解するのに役立つ図解であった。							
4.9 付属文書 B と図解は、学習と指導の主な原則を理解するのに役立った。							

**\*\*上記の項目に 5~7 の評価をつけた場合には、以下により詳しいフィードバックをお願いします。どの点に改善が必要か、どんな資料を追加すべきかをご教示ください。**

枠内にタイプしてください。記入が長くなれば枠は自動的に拡大されます。

**4.1 この資料は完全だった**

**4.2 文書の言葉使いは明解だった**

**4.3 学習理論と成人学習に関する概要は有用だった**

4.4 能力に基づいた指導・学習に関する情報は新人の教育者に有用だった

4.5 能力に基づいた指導・学習に関する情報は経験豊富な教育者に有用だった

4.6 助産教育者の資格と責任の部分は有用だった

4.7 巻末の注は完全だった

4.8 付属文書 A の図解は有用だった

4.9 付属文書 B の図解は有用だった

リソースパケットその 4 に対するフィードバックは以上。

(公社) 日本看護協会 (公社) 日本助産師会 (一社) 日本助産学会 (公社) 全国助産師教育協議会訳

All rights, including translation into other languages, reserved. No part of this publication may be reproduced in print, by photostatic means or in any other manner, or stored in retrieval system, or transmitted in any form without written permission of the International Confederation of Midwives. Short excerpts (under 300 words) may be reproduced without authorisation, on condition that the source is indicated and that the ICM be informed.

他の言語への翻訳権も含めて、この出版物は著作権を有しています。国際助産師連盟 (ICM) から文書による許諾を得ることなく、本書の一部または全部を何らかの方法で複製することや検索システムに登録することなど、一切の伝播を禁じます。ただし、短い引用 (300 語未満) に関して、許可は不要ですが、その場合は出典を明記し、ICM へご連絡ください。

Copyright © (2012) by ICM- International Confederation of Midwives,  
Laan van Meerdervoort 70, 2517 AN The Hague, The Netherlands